



国内の農場で高病原性鳥インフルエンザ (HPAI) の発生が 続発しています



10月から5月までは、高病原性鳥インフルエンザ (HPAI) の警戒時期です。HPAIウイルスは、カモ類などの渡り鳥によって国内に持ち込まれます。9～12月までの南下時、2月以降の北帰時の飛来状況を把握しておくことは農場での対策上、重要です。

環境省は、毎年秋から春にかけて、全国の観測ポイントにおける渡り鳥の飛来状況をホームページ上で公開しています。全農ではこのデータをもとに、地域ごとの飛来状況を可視化しました。JACCネットで公開していますので、右記の二次元コードからアクセスしてください。

JACCネット
2024-25シーズンにおける
渡り鳥の飛来状況

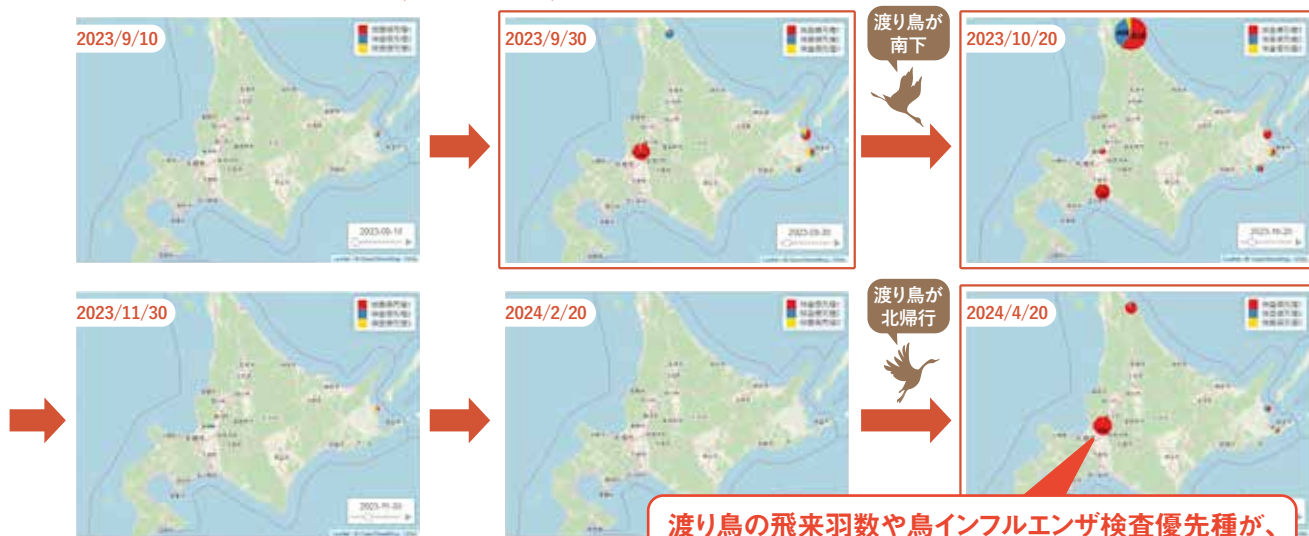


併せて読みたい▶▶▶野鳥におけるHPAI発生状況
環境省:高病原性鳥インフルエンザに関する情報
https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/



渡り鳥の動きを確認し、防疫意識の向上を!

2023-2024シーズンデータの紹介 (北海道の例)



渡り鳥の飛来羽数や鳥インフルエンザ検査優先種が、地図上で時間経過ごとに確認できます。

全農

JACCネット

JACC全農が提供する畜産総合情報サイト



動画「防疫対策の基礎知識」



「飼養衛生管理基準ガイドブック (鶏その他家きん編)」



全農

全農畜産生産部